

東京農大生が
農業実習体験

長和町
山村再生プロジェクト始まる
地元・丸子修学館高生も参加

長和町と山村再生プロジェクト連携を進める、東京農大は25、27の3日間、同町で今年度最初の教育実習を実施。大学生8人が座学や農作業実習を体験、丸子修学館高校生徒5人も参加した。26日は同町長久保の芹沢圃場で、田植えを予定する4町の畑をおこし、畦シートの取り付け作業を実施。またビオトープに使う、丸太の樹皮剥き作業



丹念に樹皮を削っていく学生

「形になっ
てきた。成
果が出る
ようにし
ていきたい」と、
活動につ
いて話した。
指導する黒
沢勇人さん
は、「農の
ある生活の
豊かさを身
近に感じて
もらえるよ
うにしてい
く」と語っ
ていた。

に汗を流した。学生らは長さ4メートル、太さ15センチほどのカラマツを、慣れない手つきで皮を削っていく。参加した滝田富崇さん(3年・21)は、「1年の時から参加しているのですが、ここが良さが良くわかってきた。自然に触れながら新鮮な体験ができるので楽しみ」と話す。また丸子修学館高の星野利弥さん(2年・16)は、「農作業の実際を大学生とともに学べるので初めて参加した」と語る。

東京農大・望月洋孝助教授は「ビオトープの準備をしている」とし、